

各位

会社名 株式会社インフォネット
 代表者名 代表取締役社長 岸本 誠
 (コード：4444 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役管理部長 日下部 拓也
 (TEL. 03-5221-7591)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年2月14日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年6月25日に開示した2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	968	190	193	133	72円11銭
今回修正予想(B)	786	4	0	0	0円01銭
増減額(B-A)	△181	△185	△193	△133	—
増減率(%)	△18.7%	△97.5%	△100.0%	△100.0%	—
(参考)前期実績 (2019年3月期)	844	164	171	109	67円35銭

2. 修正の理由

当第3四半期累計期間における当社受注状況は、10百万円を超過する大型案件が案件数で昨年比40%増加すると共に大型案件の平均受託金額も30.5%増加し、大型案件の制作期間も前年比11.5%伸長しております。

このような案件の大型化傾向に伴う受注のためのリードタイムの長期化および制作期間の伸長に伴い、当期の業績に寄与する受注及び納品状況は当初想定に比べて低調に推移しており、2019年6月25日に公表しました2020年3月期の通期業績予想を修正いたします。

(売上高)

当会計期間において当社の主たる製品である「infoCMS」のリニューアルを行い2019年5月に「infoCMS10」をリリースしたものの、案件規模の大型化傾向から受注のためのリードタイム及び制作期間が長期化しており、今期に納品が可能となる新規受託件数は前年比43.5%の減少、既存受託件数は5.3%の減少となる見通しとなっております。なお、当年度の受注累計額は1月までで昨年度対比同等まで回復しており、特に当期12月度の受注額は前年同月比194.5%の増加、1月度の受注額は前年同月比113.5%の増加と堅調に推移しており、来期の業績に寄与するものと見込まれております。

月額利用料売上は、リニューアルに伴うCMSのバージョンアップ及び周辺製品の追加受注は順調に推移していることから平均顧客単価は前期比7.5%の増加、顧客件数は前期比2.7%の増加となり、月額利用料売上は前期比12.0%の増加の見通しとなっております。

以上の結果、売上高は予算比181百万円の減少を見込んでおります。

(売上原価、売上総利益)

当社の売上原価は主に人件費及び外注費とサーバ設備等のサービス受領に応じて発生する費用で構成されております。人件費については概ね計画通りに進捗したものの、サーバ移設作業等の作業費用が計上されることから、予算比9.2%の減少にとどまるものと見込んでおります。外注費に関しては受注タイミングが後ろ倒しとなった事、及び大型案件の発生に伴う制作期間の集中が生じていることから、一時的な当社の制作リソースの不足が発生しており、予算比71.0%の増加を見込んでおります。サーバ設備に関してはクラウドサーバへの完全切替が当初の見込みより遅延したことに伴い、既存サーバとの併存期間が伸びたことから予算比21.3%の増加を見込んでおります。

以上の結果、売上原価は予算比12百万円の増加、売上総利益は予算比194百万円の減少を見込んでおります。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

当社の販売費および一般管理費については、主に営業部門と管理部門の人件費及びその他の経費で構成されております。人件費については予算比30百万円の減少を見込んでおりますが、一方でAI関連製品の 프로모ーション等による広告宣伝費が予算比8百万円増加したほか、全社的な欠員補充に伴う採用関連費用等が当初見込みより11百万円増加することとなりました。

以上の結果、販売費及び一般管理費は予算比8百万円の減少、営業利益は予算比185百万円の減少を見込んでおります。

(営業外損益、経常利益)

営業外収益は佐賀支社における助成金収入が佐賀支社人員の離職に伴い予算比1百万円の減少を見込んでおります。また営業外費用は上場関連費用を営業外費用として計上したことから予算比6百万円の増加を見込んでおります。

以上の結果、経常利益は予算比193百万円の減少を見込んでおります。

(特別損益、当期純利益)

特別利益及び特別損失は見込んでおりません。

以上の結果、当期純利益は予算比133百万円の減少を見込んでおります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向および計画などに基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上